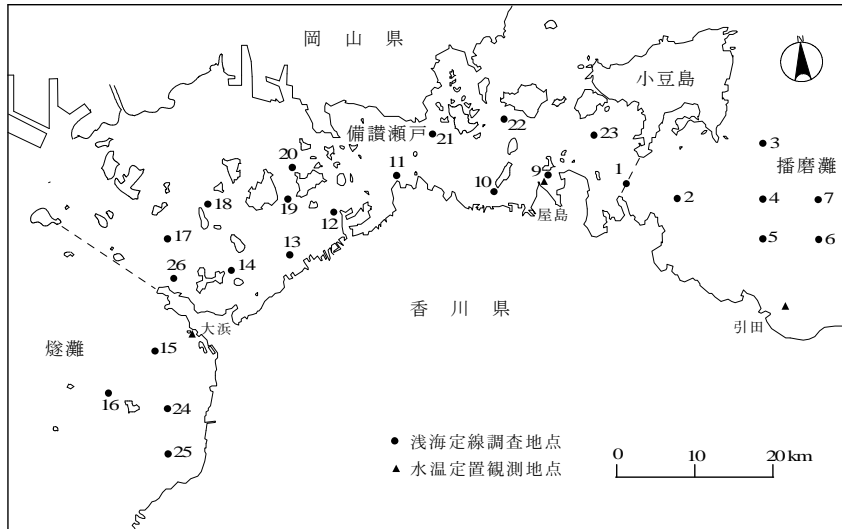


香川県漁海況情報 平成 25 年 7 月 (H25-4 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 25 年 7 月 1 日 (播磨灘), 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分と透明度は「やや低め」から「平年並み」、溶存酸素は「かなり低め」から「平年並み」であった。

7月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	21.9	20.8	18.9	31.7	31.9	32.4	8.2	4.65	3.64
	平年値	22.3	20.7	18.7	31.7	31.9	32.2	8.0	5.09	3.91
	平年偏差	-0.4	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2	0.2	-0.44	-0.27
	標準偏差(σ)	1.3	0.9	1.3	0.7	0.5	0.4	2.8	0.43	0.61
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	22.1	21.5	21.0	31.4	31.5	31.7	5.1	4.22	3.89
	平年値	21.7	21.1	20.8	31.8	32.0	32.1	4.3	4.64	4.40
	平年偏差	0.4	0.4	0.3	-0.4	-0.5	-0.4	0.8	-0.42	-0.51
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.4	0.9	0.7	0.7	1.4	0.42	0.33
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや低め	かなり低め
燧 灘	4地点平均値	25.5	20.4	18.5	31.2	32.7	32.9	7.0	4.62	3.13
	平年値	23.7	21.0	19.3	31.6	32.6	32.9	9.6	5.19	3.82
	平年偏差	1.8	-0.6	-0.8	-0.3	0.1	0.0	-2.6	-0.57	-0.69
	標準偏差(σ)	1.7	1.5	2.1	1.0	0.5	0.4	3.8	0.47	0.57
	状 況	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

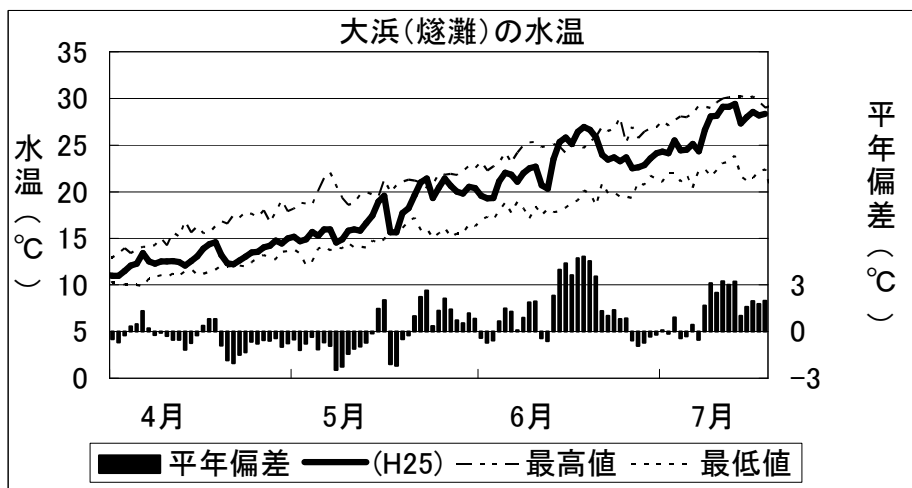
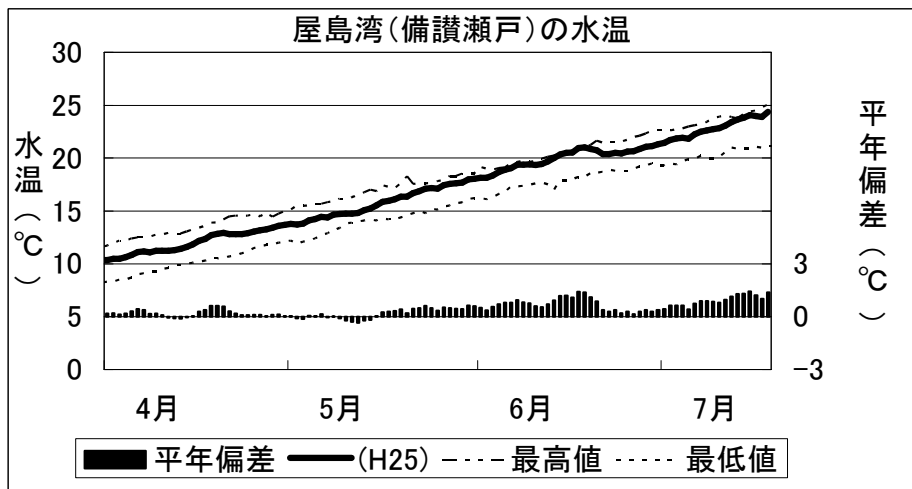
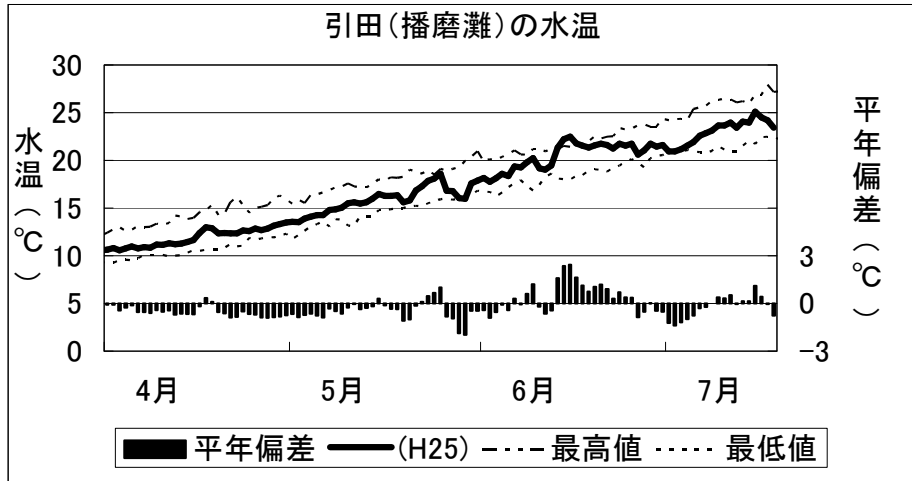
播磨灘 (引田) : 4月はやや低めから平年並み, 5月は平年並みから著しく低め, 6月は平年並から著しく高め, 7月はかなり低めから平年並で推移している。(5月下旬に1日, 過去最低値を更新。6月中旬に4日過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 4, 5月は概ね平年並み, 6月は平年並みから著しく高め, 7月はやや高めからかなり高めで推移している。(6月中旬に2日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 4月はかなり低めから平年並み, 5月はかなり低めから著しく高め, 6月は平年並みから著しく高め, 7月は平年並みから著しく高めで推移している。(5月中旬に2日, 過去最低値を更新。5月下旬に2日, 6月中旬に6日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~ 平成24 (2012) 年

屋島 : 昭和50 (1975) ~ 平成24 (2012) 年



4) 赤潮 (6月20日～7月19日)

播磨灘：6月17日から24日に小豆島東部から播磨灘南西部において *Noctiluca scintillans* による赤潮が断続的に確認され、7月8日以降も播磨灘南西部全域で断続的に確認されている。

7月13日に東かがわ市引田沿岸域で *Cochlodinium polykrikoides* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：7月1日から2日に屋島湾において *Heterosigma akashiwo* による赤潮が確認された。

燧灘：着色域は明確でないが*、6月20日から23日に燧灘東部において *Chattonella antique* 及び *Chattonella marina* が高密度に出現した。

* *Chattonella* については、明確な着色域が確認されない場合でも、100 cells/mL 以上で有害種のブルームによる赤潮として扱った。

5) 卵稚仔

調査日：平成25年7月1日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

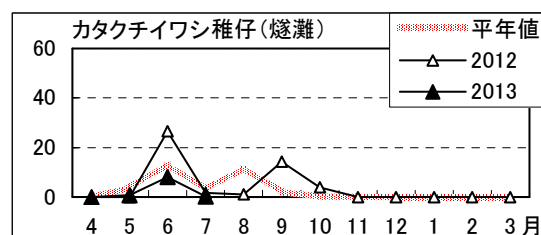
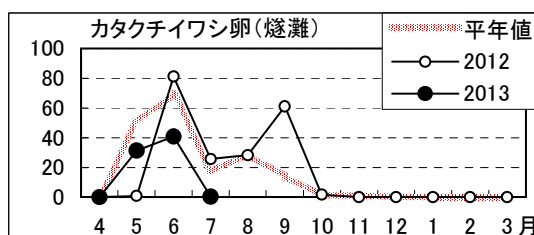
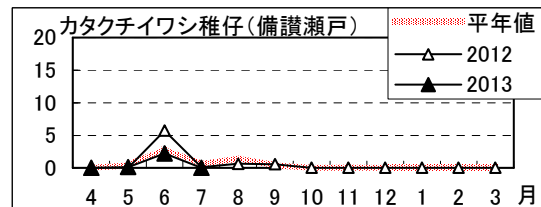
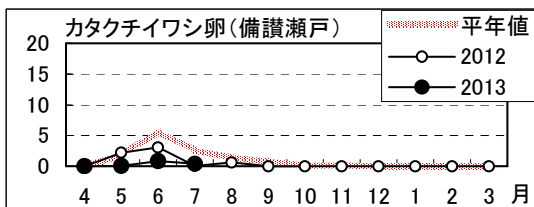
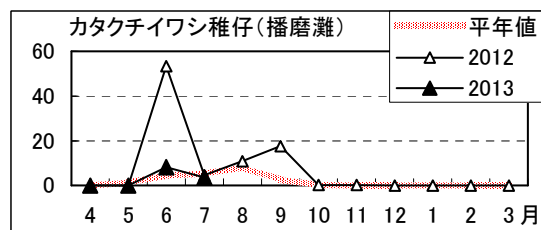
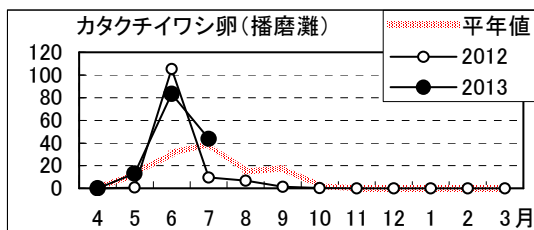
カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	43.8	3.6	0.0	0.0	23.1	2.0
	平年値	39.2	5.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	111.6	68.4	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.4	0.0	0.0	0.0	4.5	0.3
	平年値	2.6	0.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	15.4	0.0	-	-		
燧灘	平均値	0.3	0.3	0.0	0.0	0.9	0.9
	平年値	17.4	3.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	1.6	9.3	-	-		
総平均	平均値	11.9	1.0	0.0	0.0	8.6	0.9
	平年値	15.8	2.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.8	43.2	-	-		

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマルアジ、イボダイ（シズ）、小エビ類、クルマエビ、アカカマス、ベイカ（ジンドウイカ）、シログチ、マダイ、ハモ、マアナゴなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではガザミやウシノシタ類などが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマルアジ、マアジ（豆）、イボダイ（シズ）、アカカマス、スズキ、ボラ、コノシロ、マダイ、クロダイ、コウイカ、シリヤケイカ、アイゴ、ウマヅラハギ、トビウオ、シログチ、メイタガレイなどが漁獲されている。</p> <p>大敷網ではサワラ、サゴシ、マサバ、マルアジ、シログチ、コノシロ、タチウオ、アカカマス、マナガツオなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、コウライアカシタビラメ、メイタガレイ、ヒラメ、キジハタ、オニオコゼ、シロギス、キュウセン、マアナゴ、トラギス、小エビ類、ガザミ、アカニシ、ピングシ、マダコ、コウイカ、ベイカ（ジンドウイカ）などが漁獲されている。</p> <p>建網ではマダイ、キジハタ、オニオコゼ、カサゴ、シロギス、ガザミなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではアカカマス、ベイカ（ジンドウイカ）、タチウオ、メイタガレイ、シロギス、マルアジ、マダコ、小エビ類、ガザミ、マゴチ、オニオコゼ、シャコ、エソ、テンジクダイ、マアナゴ、ネズッポ類、クロダイ、テンジクダイ、シログチなどが漁獲されている。小エビ類は1隻あたり20～60kgと昨年と比べるとかなり少ない。</p> <p>建網ではキジハタ、メバル、カサゴ、マダイ、ウミタナゴ、ヒラメ、マコガレイ、サザエ、アイナメなどが漁獲されている。</p>

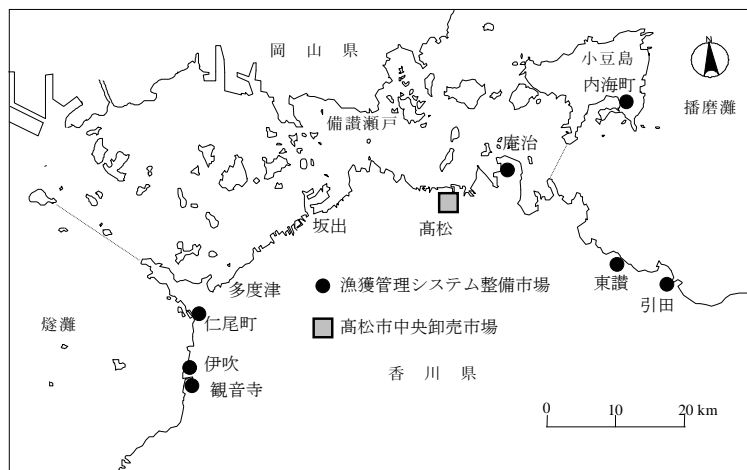
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

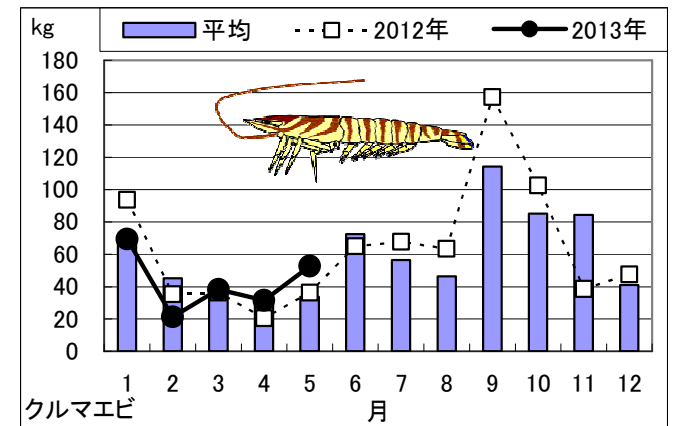
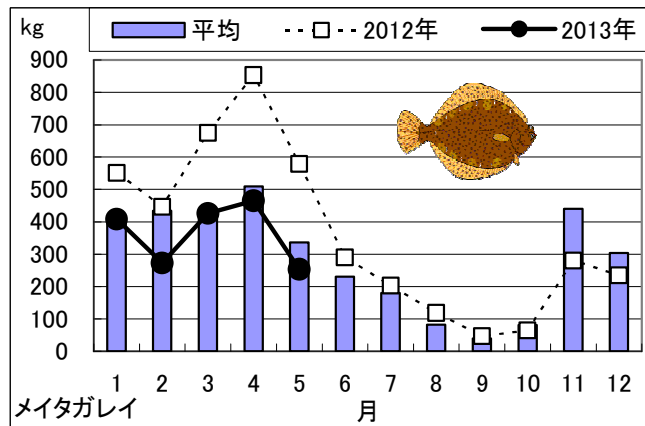
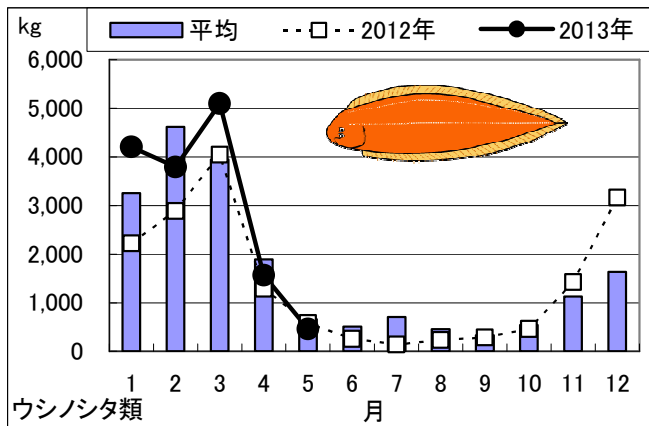
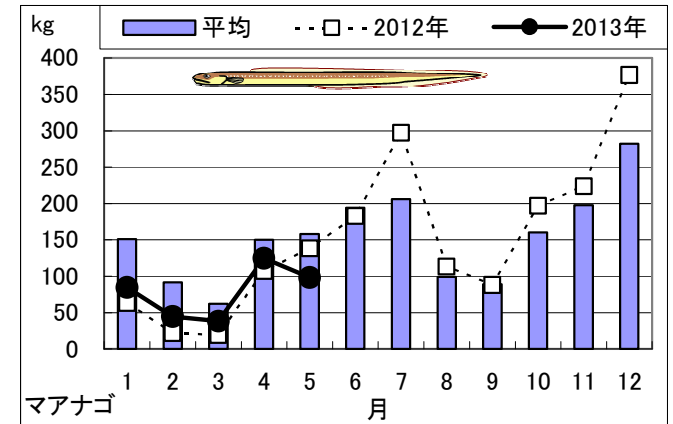
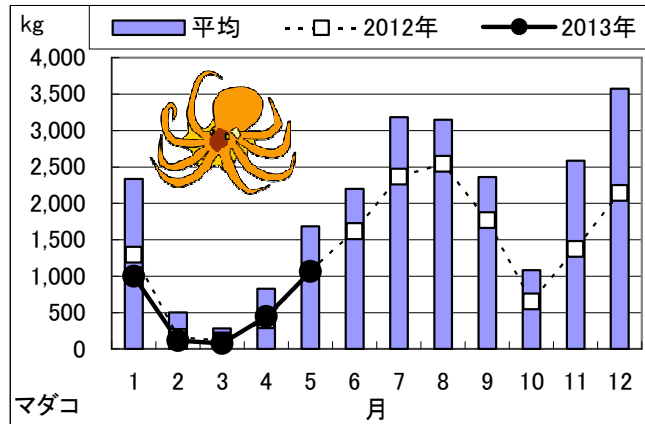
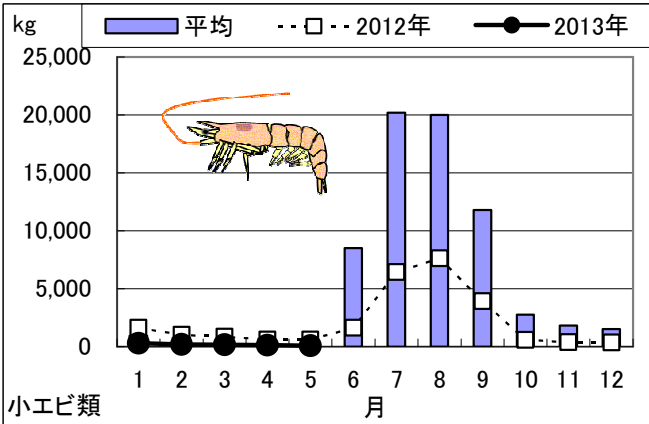
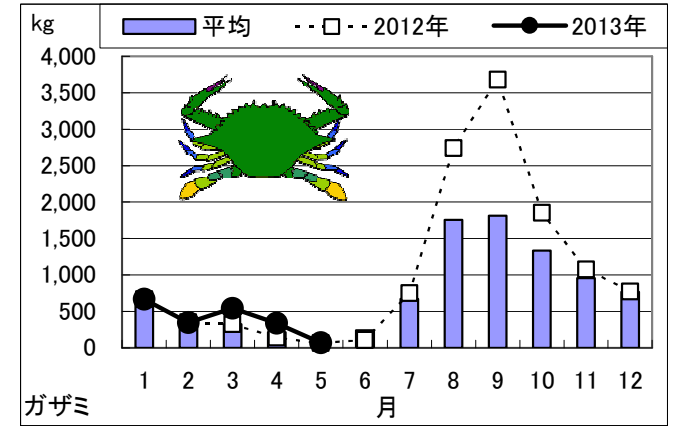
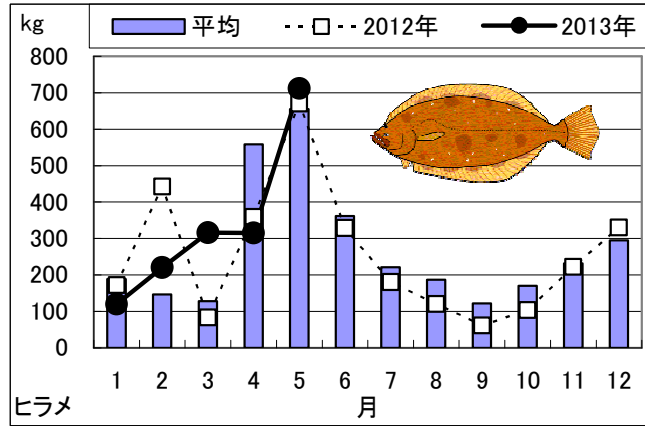
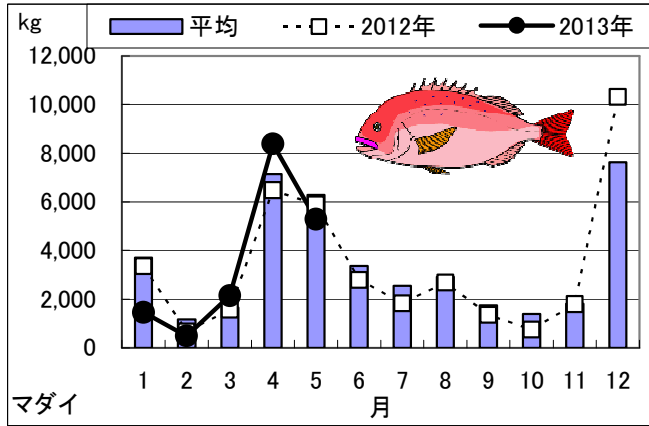
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



※ 現在、漁獲管理（TAC）システム全体を更新中で、TACシステムデータは一部の情報でのグラフとなっています。



備讃瀬戸（庵治）TACデータより（5、6月分はデータが揃っていないので、グラフは描いておりません。）

平均値は、2008年から2012年の5年間の平均。

